

平成20年度特別会計・水道事業会計予算を可決

# 後期高齢者医療制度が20年4月 からスタート 西部配水場からの配水20年4月 からスタート

平成20年度予算を、文教厚生常任委員会で構成する第2予算審査特別委員会を設置して審議しました。慎重に審議した結果、予算を可決しました。



西部配水場竣工式

## 平成20年度特別会計・水道事業会計予算の一覧表

会計名		予算額	前年対比	主な内容	
特別会計	国民健康保険	15億163万5千円	△2億801万3千円(△12.2%)	<b>歳出</b> 保険給付費9億8986万円	
	老人保健	3億2427万4千円	△12億4906万3千円(△79.4%)	<b>歳出</b> 医療諸費3億2253万7千円	
	後期高齢者医療	1億4086万8千円		<b>歳入</b> 後期高齢者医療保険料 9359万1千円 一般会計繰入金 4725万9千円 <b>歳出</b> 後期高齢者医療広域連 合納付金1億3171万3千円	
水道事業会計	収益的	収入	2億1586万5千円	△307万2千円(△1.4%)	給水収益2億1382万7千円
		支出	1億9390万円	3206万5千円(19.8%)	水道企業団からの受水費 8110万3千円
	資本的	収入	5672万円	△3億4850万円(△86%)	第1期拡張事業に伴う借入金 2800万円
		支出	6444万2千円	△3億7731万5千円(△85.4%)	第1期拡張事業費 6345万円

\* 水道事業会計の資本的収入額が支出額に対して不足する772万2千円は、留保資金で補てんする。  
\* 水道の第1期拡張事業の内容：配水管布設工事(1路線、1320m)

### 第2予算審査特別委員会 (文教厚生常任委員会)

#### 審査報告(概要)

委員長 牟田口美智子  
副委員長 中島 和正  
委員 西田 勉  
眞崎 萬次  
徳永 豊

#### 国民健康保険

■ 医療費増の対策として、今後とも健康づくり事業の充実及びレセプト点検の強化等になお一層の努力を要望する。

■ 納税義務の公平性からして、さらに税徴収に鋭意努力されたい。

#### 老人保健

■ 平成20年度4月からは老人保健に替わり後期高齢者医療制度になる。

#### 後期高齢者医療

■ 平成20年度4月から老人保健に替わり後期高齢者医療制度になるが、依然として高齢者の医療費が多額であるため、適正受診についての訪問指導をさらに推進されたい。

#### 水道事業

■ 4月中旬からは新しい西部配水場からの配水が始まるので、今後とも事故のないように万全の対策を講じ、安くて安全な水道水の安定供給に努められたい。